

平成21年度実績 事務事業評価結果一覧(2次評価)

事務事業名	今後の方向性 (2次評価結果)	方向性に対する取り組み(方針の指示)	担当課名
特定健康診査・特定健康指導事業	手段等の見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民個人の健康維持や病気予防の意識付けについて充実を図る。</li> </ul>	市民課 国保年金係
防犯灯整備事業	手段等の見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域性(都市部と農村部)も含め、市で統一した設置基準を早期に制定する。</li> <li>・今後も既存防犯灯の維持管理の精度を高めていく。</li> </ul>	生活安全課 生活安全係
社会福祉協議会活動支援事業	手段等の見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補助金制度を維持し、社会福祉協議会との協力関係を保つことは大切だが、適時見直しは必要である。</li> <li>・市と社会福祉協議会の本来の役割分担を再確認し、整理すべきである。</li> </ul>	社会福祉課 社会福祉係
幼稚園児健康づくり推進事業	手段等の見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本来の健康づくり事業(「親子健康体操」など)を展開するべき。</li> <li>・補助金から他の予算細節への予算の組替えについては、2次評価会議の意見を参考に、事業担当部局が財政課と協議し判断する。</li> </ul>	幼保学校課 幼保教育係
市営住宅維持管理事業	手段等の見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市営住宅の今後の方向性や全体戸数を決めるため、「公営住宅ストック総合活用計画」を今年度中に策定する。</li> </ul>	建設課 建築係
老人クラブ活動支援事業	現状継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時流により、老人クラブの加入者数が減少するのはやむをえない。補助金の用途が適切か確認することが事業の要となる。</li> <li>・老人クラブとは別に70歳未満の若手の方を対象にしたクラブ設立等、高齢者の社会参加について今後の方向性を検討するべき。</li> </ul>	高齢福祉課 長寿福祉係
市内巡回バス運営事業	手段等の見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域交通会議で協議いただきながら、適時課題に対応していく。</li> </ul>	商工労政課 産業統計係